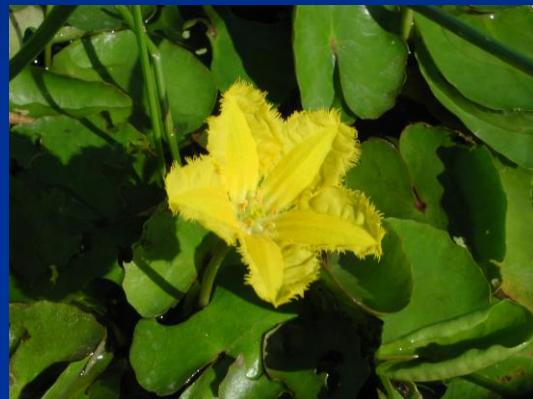


富山県の絶滅危惧植物



2007年10月21日

副主幹研究員・企画情報課長 中田政司

今日のメニュー

1. 生物多様性と植物の絶滅
2. 絶滅をもたらす原因
3. 富山県の絶滅危惧植物、特に最近の話題

休憩

4. 植物園における絶滅危惧植物保全の取り組み

エッチュウミセバヤ

コアニチドリ

質問と意見交換

生物多様性 biodiversity

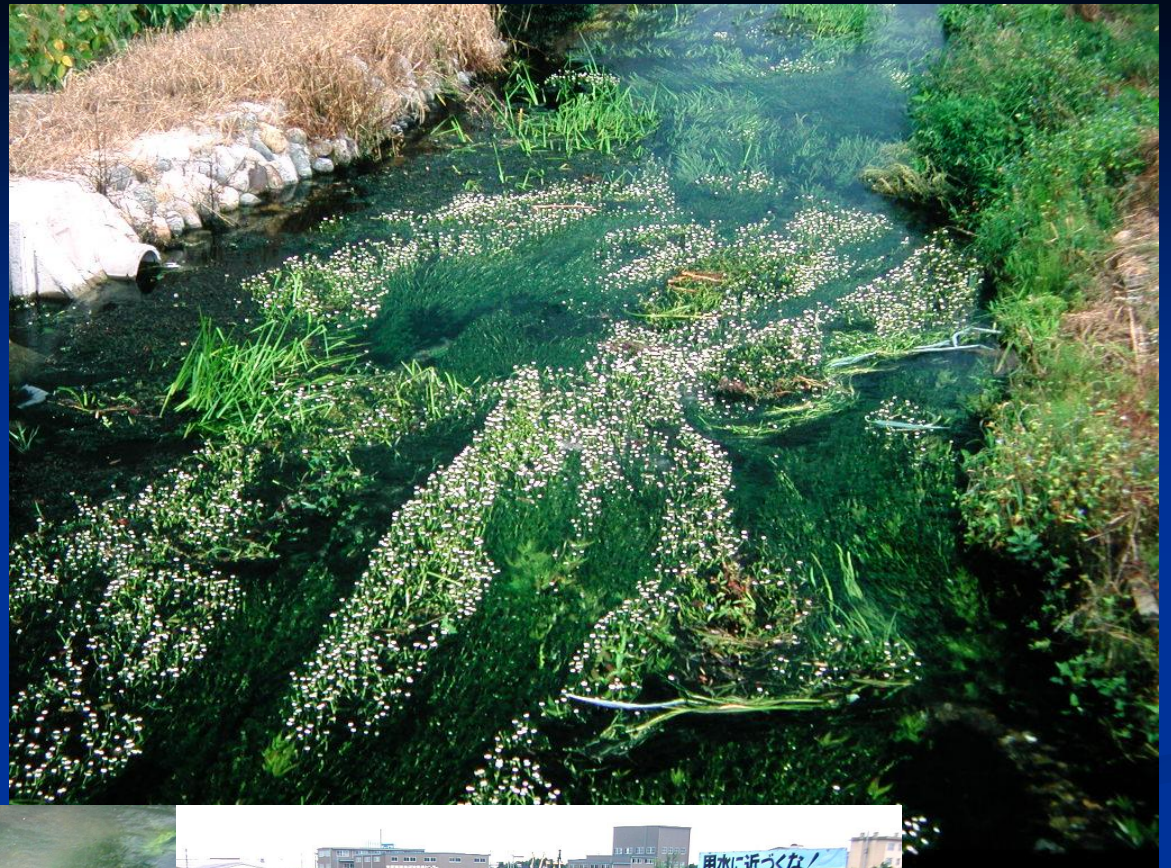
遺伝子、個体群、種、生物群集および生態系のレベルにおける構造的、機能的多様性



熱帯雨林の多様性



用水路の多様性



多様性の保全 = 持続性の保障



南米ペルーアンデスで栽培されている原種ジャガイモの多様性

生物多様性条約

(生物の多様性に関する条約)

Convention on Biological Diversity

(CBD)

- ・1993年12月29日、発効
- ・2006年4月現在、187か国及びECが締結。米国は未締結。

目的

- 1) 地球上の多様な生物をその生息環境とともに保全すること
- 2) 生物資源を持続可能であるように利用すること
- 3) 遺伝資源の利用から生ずる利益を公正かつ衡平に配分すること

遺伝資源へのアクセスと その利用から生じる利益の公正・衡平な配分に関する ボン・ガイドライン

この指針は、生物多様性条約第8条(j)項、第10条(c)項、第15条、第16条および第19条の規定に特に関連したアクセスと利益配分についての法律上、行政上または政策上の措置、また、アクセスと利益配分に関する相互に合意する条件に基づく契約およびその他の取り決めを起草および策定する際の**参考例を提供することができる。**

→ **植物園の種子交換にも影響**

なぜ植物の絶滅が問題か？



水質悪化で十二町瀧から絶滅



オニバス(上)とセンニンモ(右)



なぜ植物の絶滅が問題か？

2. 生物社会のバランスがくずれる



生物どうしのつながい



ウマノスズクサはジャコウアゲハの食草

なぜ植物の絶滅が問題か？

3. 有用遺伝子資源の消失



医薬品原料としての植物



中国雲南省の少数民族の薬草

何が植物の絶滅をもたらすか？



開発

何が植物の絶滅をもたらすか？



採集

何が植物の絶滅をもたらすか？



環境汚染

何が植物の絶滅をもたらすか？



自然災害

何が植物の絶滅をもたらすか？



自然の変化

何が植物の絶滅をもたらすか？



外来種



特定外来種

ボタンウキクサとオオキンケイギク

何が植物の絶滅をもたらすか？

園芸品種



イノギクと家菊の交雑



富山県の絶滅危惧植物

富山県

推定生息種類数 2,600

絶滅危惧種 376 (14.5%)

絶滅種 18

全国

推定生息種類数 7,000

絶滅危惧種 1,665 (23.8%)

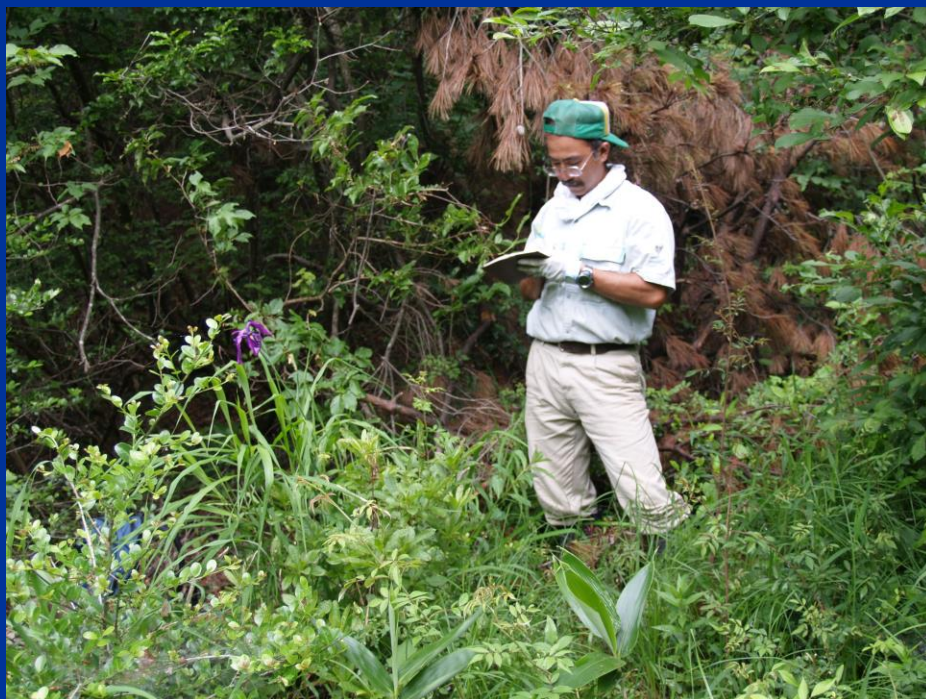
絶滅種 20



花博記念財団の研究助成による事業
富山県産アヤメ科植物の自生地調査

(担当者: 山下・李・中田・神戸・大原)

これまでに記録された標本産地、文献産地を追跡調査



富山県産の自生アヤメ科植物

- ・アヤメ ごくまれ。栽培逸出?
- ・ヒオウギアヤメ ごくまれ。未指定
- ・ハナショウブ まれ。県絶滅危惧種
- ・カキツバタ まれ。県絶滅危惧種
- ・シャガ 低山斜面に広く生育
- ・ヒメシャガ 随所に生育。県希少
- ・ヒオウギ ごくまれ。栽培逸出?
県絶滅危惧種



0

500

1000

1500

2000m

ノハナショウブ

カキツバタ

ヒメシャガ

ヒオウギアヤメ

富山県内のアヤメ科植物の垂直分布



ヒオウギアヤメ

国 該当なし

県 絶滅危惧種に相当

ヒオウギ (アヤメ科)

国 該当なし
県 絶滅危惧種



絶滅危惧種 1497/1/1 中日

ヒオウギ 県内自生

華山の滅亡と
アヤメ科の草(アヤメ科の草)が、甲府の山中に自生する。甲府県中央植物園(倉山)で発見された。ヒオウギは、数年前の調査で、甲府県中央植物園(倉山)で発見された。ヒオウギは、数年前の調査で、甲府県中央植物園(倉山)で発見された。

県中央植物園

83年の記録後、初確認

ヒオウギは、昔が、西日本の海岸や山岳地に生息していた。アヤメ科の草(アヤメ科の草)が、甲府の山中に自生する。甲府県中央植物園(倉山)で発見された。ヒオウギは、数年前の調査で、甲府県中央植物園(倉山)で発見された。

ヒオウギは、昔が、西日本の海岸や山岳地に生息していた。アヤメ科の草(アヤメ科の草)が、甲府の山中に自生する。甲府県中央植物園(倉山)で発見された。ヒオウギは、数年前の調査で、甲府県中央植物園(倉山)で発見された。

ヒオウギは、昔が、西日本の海岸や山岳地に生息していた。アヤメ科の草(アヤメ科の草)が、甲府の山中に自生する。甲府県中央植物園(倉山)で発見された。ヒオウギは、数年前の調査で、甲府県中央植物園(倉山)で発見された。

サンインギク (キク科)

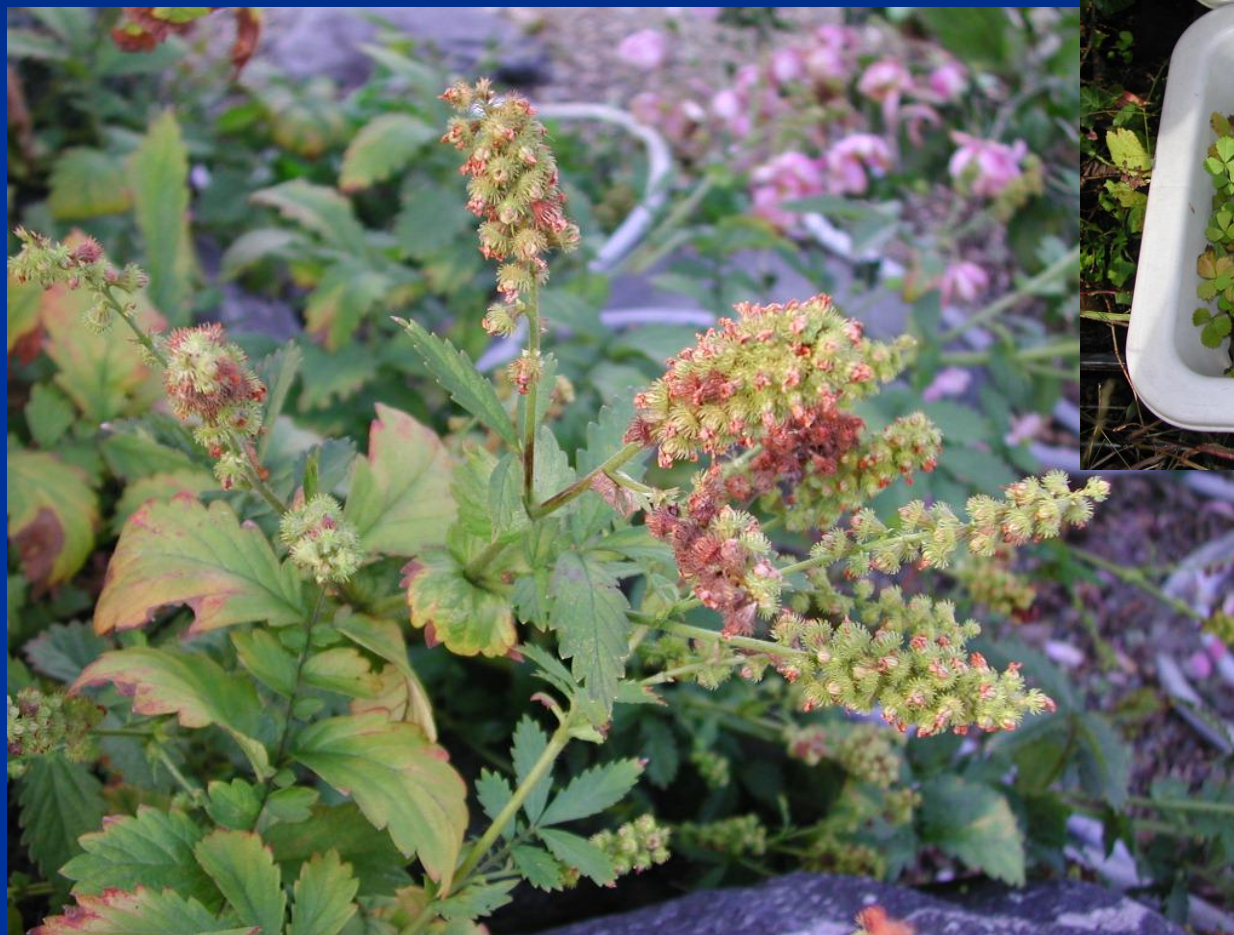
国 該当なし

県 絶滅危惧種 → 個体群としては野生絶滅か？



ダルマキンミスヒキ (バラ科)

国 該当なし
県 絶滅危惧種



アオベンケイ (ベンケイソウ科)

国 該当なし

県 絶滅危惧種



ミスネコノオ (シソ科)

国 絶滅危惧II類(VU)

県 絶滅危惧種



ミストラノオ (シソ科)

国 絶滅危惧II類(VU)

県 絶滅危惧種に相当



中日
絶滅危惧植物

ミストラノオ 県内で初確認

富山市の休耕田に群生

富山市の休耕田に群生しているミストラノオの群生が、富山市の休耕田に群生していることが確認された。ミストラノオは、絶滅危惧II類(VU)に相当する植物で、富山市の休耕田に群生していることが確認された。富山市の休耕田に群生しているミストラノオの群生が、富山市の休耕田に群生していることが確認された。富山市の休耕田に群生しているミストラノオの群生が、富山市の休耕田に群生していることが確認された。

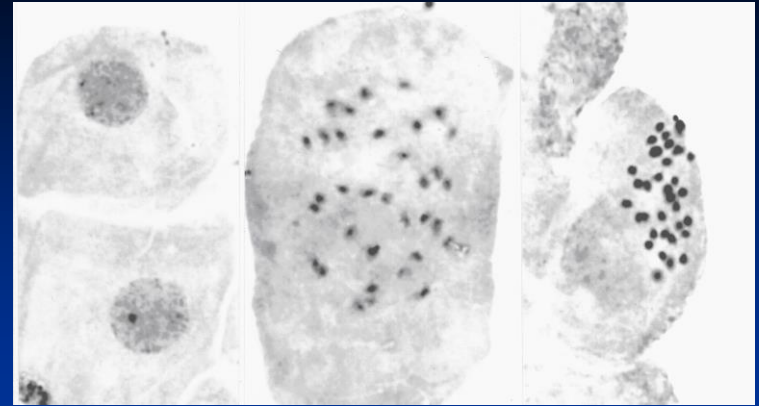


富山市で初めて確認された絶滅危惧植物のミストラノオの群生。富山市北郊の休耕田で

■ ミズネコノオ

(一年草、小形、広い分布)

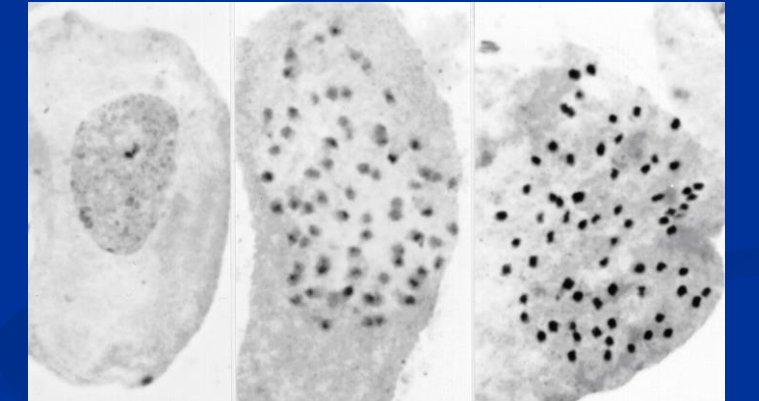
$2n=34$



■ ミストラノオ

(多年草、大形、狭い分布)

$2n=68$



?

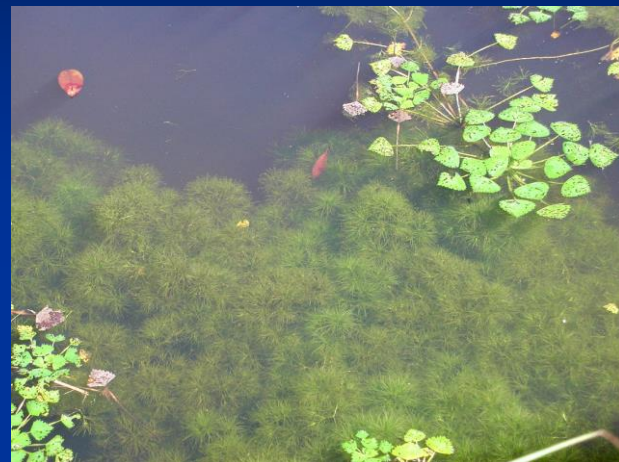


$2n=34 \Rightarrow 2n=68$

オオトリゲモ (イバラモ科)

国 該当なし

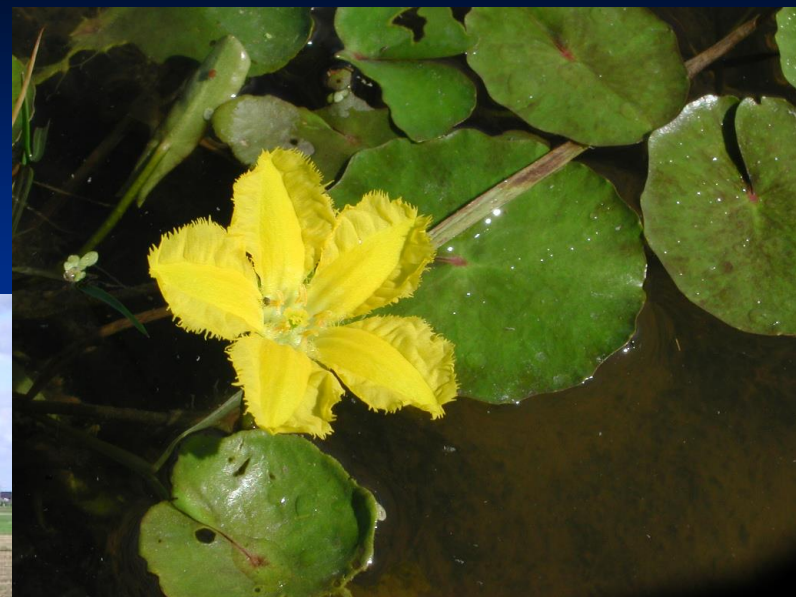
県 絶滅危惧種に相当



アサザ (ミツガシワ科)

国 絶滅危惧II類 (VU)

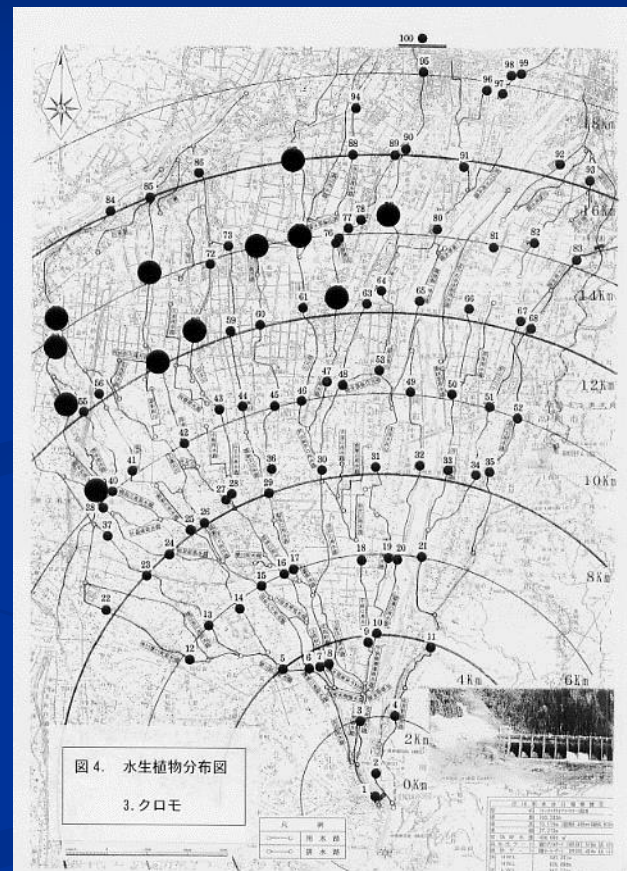
県 絶滅危惧種



県東部で
再発見

クロモ (トチカガミ科)

国 該当なし
県 希少種



用水路型

クロモ (トチカガミ科)

国 該当なし

県 希少種



ため池型

クモモ



ため池型
2倍体(2n=16)
絶滅危惧種に相当

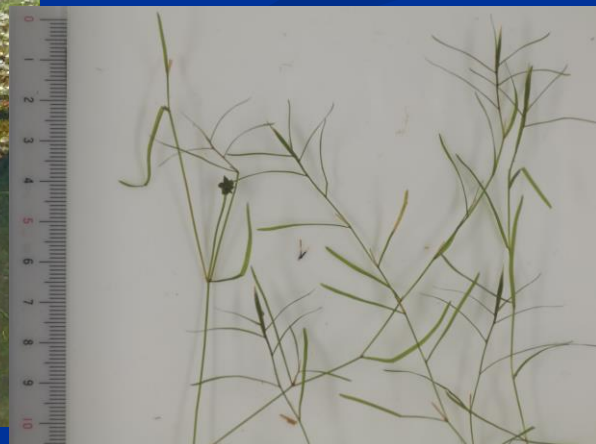
用水路型
3倍体(2n=24)
普通種に相当



イトモ (ヒルムシロ科)

国 絶滅危惧II類(VU)

県 情報不足 → 絶滅危惧種へ追加



クログワイ

国 該当なし

県 (絶滅危惧種→)希少種

ミスオオバコ

国 該当なし

県 希急種 → 希少種へ格下げ?

